



## 世界津波の日高校生サミット in 和歌山

10/31(水)と11/1(木)の2日間、和歌山県和歌山市にあるビッグホール和歌山をメイン会場に行われる「世界津波の日高校生サミット in 和歌山」に、3名が出場しました。このサミットは、世界49ヶ国、約400名の高校生が集まり、地震や津波などの災害から命を守るため、自分たちに何が出来るのかを議論し共に学び合う目的で開催され、今回で3回目になります。本校は、科学部が研究を進めている「VRを用いた夜間避難訓練」の研究活動報告及び提案を行うために参加しました。海外の高校生と過ごした2日間でしたが、とても貴重な体験となりました。

### サミット1日目

#### 分科会ブリーフィング

日本4県(岩手、栃木、和歌山、奈良)と、海外4ヶ国(コモロ、ミャンマー、ニュージーランド、バヌアツ)が本校と同じグループIで活動します。

### 研修2日目

#### 分科会

昨日に引き続き、ディスカッションしながら、自分たちのグループの意見をまとめました。総会での宣言文作成に取り組みました。

#### スタディツアー報告・記念植樹

自分たちの防災に対する研究を英語で報告し合います。本校は、VRを用いた夜間避難訓練を提案しました。

#### 総会

グループAからIまでの宣言文が読まれます。フィナーレでは会場に「稲むらの火」をペンライトで再現するショーもありました。



↑東京大学の片田先生にも助言を頂きました。

## 第78回 科学展

11月11日(日)に、熊本市環境総合センターで行われている科学展に参加しました。これは熊本県教育センターが主催されており、主に、県内各地域の代表となった自由研究が展示されています。その展示室のそばに科学の体験ブースがあり、本校は天草サイエンスアカデミーでも行った「さわれる水」の実験会を企画・運営しました。



体験した小学生たちからは「なんで触れるの?」「食べることはできるの?」といった質問があり、本校生も楽しく説明していました。

## みつばちラジオ出演 (あまくさ HAPPY HUNTING)

11月18日(土)、天草みつばちラジオ(FM88.8)にSSH関係の2組が出演しました。世界的演出作家の小山薫堂氏が「あまくさ HAPPY HUNTING」という一日限定の企画をされ、地元高校生から相談を受ける「あまくさ会議」というコーナーがあり、参加しました。

1組目は、AS I でミャンマーの養護施設に洋服を届けるボランティアの研究を行っている1年生5名、2組目は2年ASクラス4名です。

Q1: 校内で実施したミャンマーへのボランティアを地域に広げて活動したい。

A: いらなくなった物資を集めて送るというコンセプトでは弱い。自分の好きな服を、自分の好きな場所の写真と一緒に送り、ミャンマーに友達を作るというストーリー性をつけてみてはどうか。

Q2: 研究発表の際に専門用語が多くなったときに、相手に伝える方法があるか。

A: 発表の冒頭で、いかに聞き手の心をつかむかが勝負。この人の話を聞きたいという気持ちにさせなければ、いくら良い研究であっても伝えることは難しい。動画などを活用してみてはどうか。

他にも多くの助言をいただきました。新しい価値を創造する力の素晴らしさを体感しました。



## 第62回 日本学生科学賞 県審査通過

科学部の『珪藻分析・花粉分析からの海水準変動予測』が、読売新聞社主催の日本学生科学賞県審査を突破し、中央審査に進みました。これは、天草高校初となる快挙です。11月17日・18日と中央審査があり、惜しくも入選はできませんでしたが、自分たちの研究を論文にまとめ発表する良い機会となりました。来年は最高賞(内閣総理大臣賞)を目指します。

